

記者発表資料

大阪経済記者クラブ会員各位

「中小企業事業化勉強会 (MoTTo PLUS 事業)」の開設について
～大手企業の技術シーズを中小企業が活用し製品を創出～

【問い合わせ先】大阪商工会議所 経済産業部
産業・技術・水ビジネス振興担当
(楠本・福田) TEL06-6944-6300
大阪シティ信用金庫 企業支援部
(日比野) TEL06-6201-2946

- 大阪商工会議所 (以下、大商) と大阪シティ信用金庫 (以下、シティ信金) は、東大阪商工会議所、八尾商工会議所と連携し、大手企業の技術シーズ (開放特許) や半完成品 (デバイス) ・部材を中小企業が活用し製品を創出するための新たな取り組みとして、「中小企業事業化勉強会 (MoTTo PLUS 事業)」を本格的に開始する。
 - 大手企業から技術シーズの提供を受けて、その用途開発に向けた事業化勉強会を大阪市、東大阪市及び八尾市内で開催。同事業の中で、大手企業から中小企業に対し技術シーズを提示し、双方の意見交換を行う。その上で、大手企業の技術者などのアドバイスを得ながら、中小企業が自社ブランドとして製品化・事業化するまでを伴走支援する。
 - ①経営者自らが方針策定から製品上市まで、リーダーシップをとって取り組むことによるスピード感、②環境変化への対応や日常でひらめいたアイデアの商品化など、敏捷かつ柔軟なアクション、③大手企業が参入困難なニッチ市場におけるイノベーションの担い手、という中小企業ならではの特徴を生かした革新的で創造力豊かな製品を創出していく場としたい。
 - 大商とシティ信金は、既にトライアル事業を本年3月中旬に実施し、中小企業23社が参加。このうち10社が大手企業と個別ミーティングを行った。
 - 同勉強会は「知財ビジネスマッチング事業」※ (近畿経済産業局) とも連携する。
 - 「技術シーズを提供する大手企業」「事業に参加する中小企業 (大阪府内限定)」の参加費は無料。
 - 第1回目の「技術シーズを提供する大手企業」はシャープ(株)。同社電子デバイスに関する技術シーズ活用に関心を持つ中小企業の参加を求める。
 - 同事業は大手企業1社ごとに当面、年間1回ずつ開催。開催場所は大手企業と調整の上、大阪市、東大阪市及び八尾市内のいずれかで開催。本年度中にシャープ(株)、来年度にかけて年間数社開催予定。
- (当面の予定)
11月6日(木)、7日(金) シャープ電子デバイス展示提案会2014を活用し、同勉強会を開催

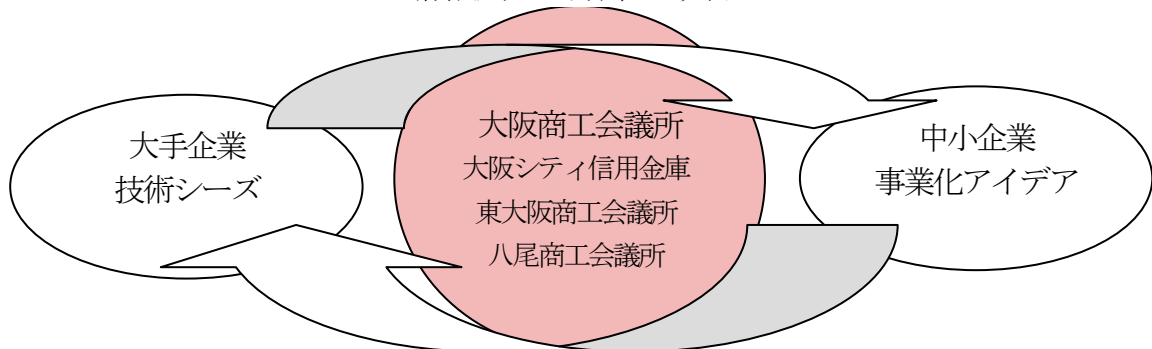
以上

※中小企業が大手企業の保有する開放特許や休眠特許等を活用し新製品開発や新事業展開へと繋げるため、技術力を有する中小企業に対し、大手企業の技術等の紹介や大手企業とのマッチング機会の提供を行うもの。

<添付資料>仕組み図、事業化までの流れ、「大手と中小のマッチング」事業例、トライアル事業の技術シーズ例、第1回開催案内

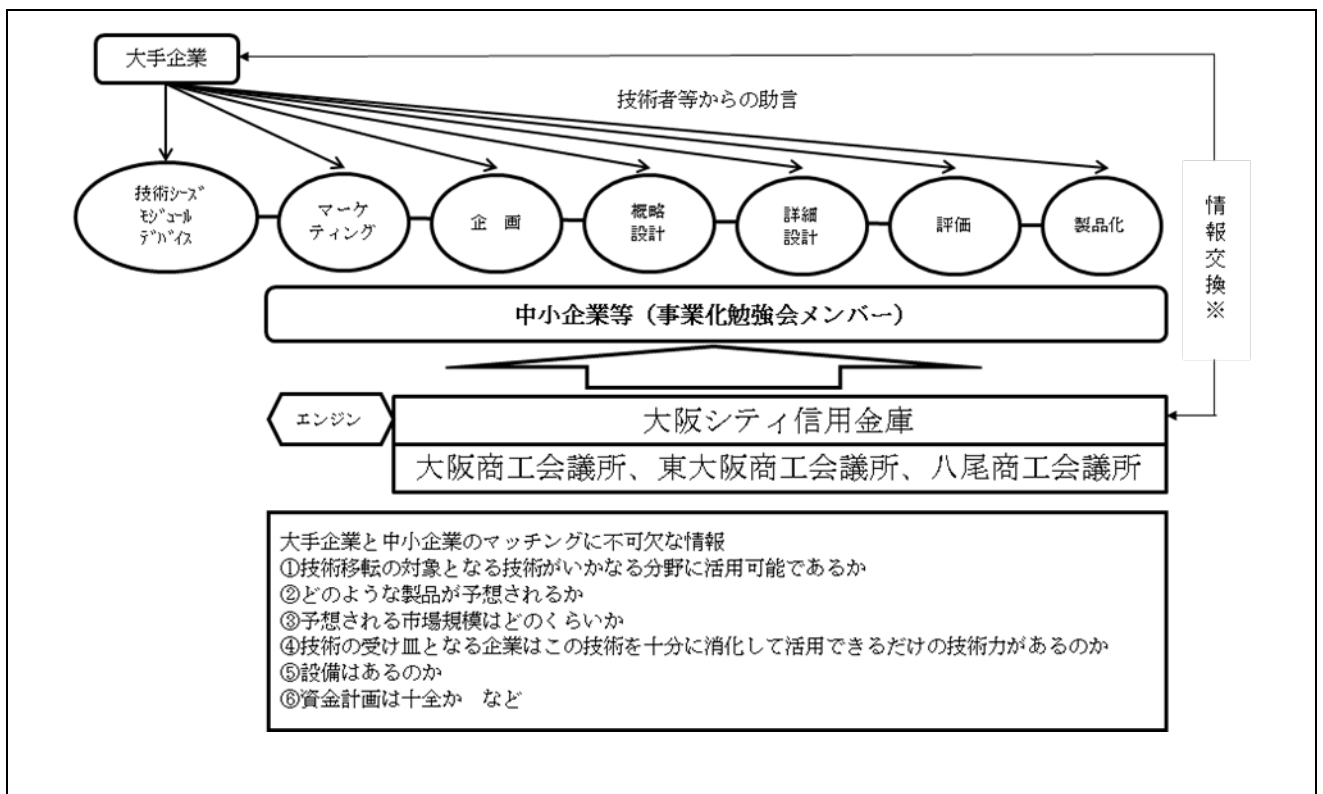
【仕組み図】

情報提供&事業化を助言



大手企業の技術シーズを活用して事業化を提案

【事業化までの流れ】



【「大手と中小のマッチング」事業例】

名称	概要
大阪商工会議所 MoTT。OSAKA フォーラム	環境・エネルギー分野全般における技術開発、製品化・事業化を加速させる“開発型プラットフォーム”を運営。具体的には定例会（大手企業の技術ニーズ説明会）と大手企業と中小企業のビジネスミーティング。
大阪商工会議所 水インフラ・システム関連産業の輸出促進	アジアで水ビジネスを展開している企業からの連携ニーズを提供し、対応できる企業を集めてのチーム作りや、海外向けの水環境関連機器の開発に係る“技術ニーズ”とそれに応える中小企業等の“得意技術”とのマッチング。
大阪シティ信用金庫 「シティ信金PLUS事業spec1」	大手企業の製品化のための技術課題を解決もしくは共同で開発可能なお取引先中小企業の技術コーディネート。
大阪シティ信用金庫 「シティ信金PLUS事業spec2,3」	大手企業のライセンス可能な特許および提供可能な半完成品（デバイス）情報をもとにお取引先中小企業の独創的新事業の展開を支援。
東大阪商工会議所 「産学プラス1モノづくり事業」「産産連携事業」	管内中小製造事業者と大学等研究機関との共同研究開発を促進する為、産学コネクティビティを活用し、マッチングを行う。また、大手企業のビジネスパートナーを発掘する目的で中小製造事業者との取引マッチングを図る。
八尾商工会議所	大手製造メーカー等の発注・調達案件などの情報提供や橋渡し。総合展示商談会、専門展示会へ大手企業担当者を招へいしマッチングを実施。また、大阪シティ信用金庫、大手機械商社、大手物流企業との提携により、市内中小企業に対する海外ビジネスの個別支援を実施。

【トライアル事業（平成26年3月19日開催）の技術シーズ例】

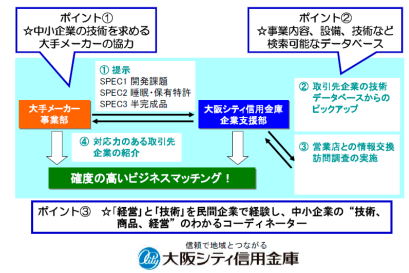
名称	概要
小型高精度測距センサ	業界最小サイズを実現、ロボット掃除機の高精度制御に貢献
PM2.5センサモジュール	業界最小サイズで、業界最短の測定時間を実現
近赤外光対応CCD	近赤外光対応により真暗でも見える
高効率青紫色・UV LEDデバイス	近紫外から紫外帯域の高効率UV-LED
植物育成用直管型LEDランプ	植物育成に必要な光を効率よく照射
照明向け各種LEDデバイス・モジュール	用途に合わせた性能を持つ豊富なラインナップ

(参考)

● 大阪シティ信用金庫の「シティ信金 PLUS 事業」

当金庫では、平成19年11月から「市信 PLUS 事業」(旧大阪市信用金庫時代から)として ①中小企業の販路拡大事業、②地域活性化事業、③中小企業等の経営者育成事業を展開してきました。大手企業とは 630 案件を技術コーディネートし 270 案件の引合があります。

大阪シティ信金 PLUS 事業スキーム図



● 大阪商工会議所の「MoTTo OSAKA フォーラム」

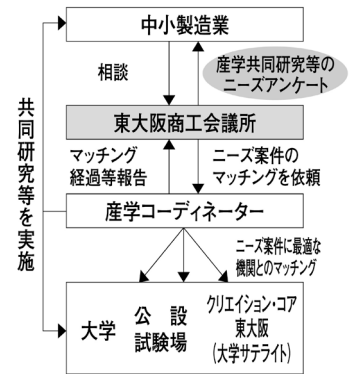
大手企業と中堅・中小企業等が早い段階からチームを組み、材料・部材や要素製品、さらには機器間を制御するシステムなど互いの優れた技術・ノウハウを結びつける。具体的には、大手が自らの新規開発について技術課題を提示し、中小がそれに対して保有する技術や製品を提案する「定例会」や「ビジネスミーティング」を通じ、アジア諸国に負けない“ハイエンド技術”の開発、製品化・事業化を促進。



● 東大阪商工会議所「産学プラス1モノづくり事業」「産産連携事業」

中小製造事業者に対し産学共同研究開発に関するニーズアンケートを実施し、ニーズがあった企業に、技術移転グループで構成される産学コーディネータを派遣し、大学等研究機関とのマッチングに努める。また、新たなビジネスパートナーを模索する大手企業に対し、ニーズを取りまとめ、対応可能な中小製造事業者との間で個別商談会を実施する。

◆産学プラス1モノづくり事業の流れ◆



● 連携事業としての経緯

以前から大阪市信用金庫(現:大阪シティ信用金庫)は、大手企業の技術シーズやモジュール・デバイス・部材をもとにした中小企業の自社ブランド製品の開発・事業化を支援する取り組みを行っており、具体的な成果が出ていた。大阪市信用金庫が大阪東信用金庫(八尾市)と大福信用金庫(大阪市福島区)と合併し、大阪シティ信用金庫が誕生したことを機に、その取り組みの地域的な拡大を検討される際、大阪商工会議所との方向性が一致し、連携について意気投合した。大阪シティ信用金庫の店舗網と合致する東大阪商工会議所と八尾商工会議所も、加わることとなった。